

# 答辞

暖かな日差しのもと大地に芽吹く木々だけでなく、今年は社会全体で喜びを共有できる春となりました。

本日はご来賓の方々のご臨席のもと、かくも盛大な卒業証書授与式を挙行していただき誠にありがとうございます。ただいまは校長先生はじめご来賓の方々、在校生の皆さんから心温まるお言葉をいただき、私たち卒業生一同、改めて卒業の喜びと責任を感じております。

三年前、私たちは入学式をすることができなまま二ヶ月間ステイホームが続きました。あのときどんなに学校と仲間を渴望したことか。そしてようやく出会えた仲間達の印象は「すごい」の連続でした。本当に個性豊かで面白い人ばかりで、得意なことや趣味が具体的になかった私は他の人たちに圧倒されていました。今でもたびたび圧倒されるくらいです。私は自分もなにか決った部分を作らないといけないと思い、とても悩みました。高校数学を解いている人、独学で英語ディベート大会に出場する人、レスリングや空手で全国で活躍している人、理数グランプリやビブリオバトルで全国入賞を果たす人、など錚々たるメンバーからこの三年間影響を受け続けました。そして関わっていくうちに、みな決ろうととして決っているのではなく、ただ自分の好きなことを突き詰めているだけなんだと気づきました。それに気づいてからは、自分の好きなことは何なんだろう、したいことは何なんだろうと、自問自答するようになりました。その結果陸上という競技を突き詰めようかと心を決め、三年夏の大会で表彰台に上ることを目標に練習してきました。しかし、実際は表彰台どころか、自己ベストすら出せませんでした。

もつと頑張れたんじゃないか、もつと本気でやれば表彰台に上れたんじゃないか、そう葛藤する中で、ようやく自分の弱さと向き合うことができました。高志中だったからこそ、自分の強みを見つけないと思え、高志中6期生だったからこそ、自分の弱さを知り新しい扉を開けることができました。自分を育てる必要性を学べたことが高志中学校へ入学した一番大きな収穫だといえます。

そのような自分と向き合う葛藤を抱えたこの三年間を支えてくれたのは、この六期生の仲間達の存在でした。一年生、宿泊研修、雨の中の飯盒炊きさん。二年生、働くことを学んだ職場体験、東京に行けない思いをぶつけたROCK FESTIVAL。そして三年生、学校祭。ミュージカルでは脚本を担当し、ハプニングや困難をたくさん生徒と協力し乗り越え作り上げることができました。感動した。面白かった。そう言っていただけだったときに、ミュージカル部門みんなのおかげだと感謝の気持ちでいっぱいになりました。もう一つ、最大の思い出となったのは東京研修。自分たちで研修をデザインし、六期生全員が積極的に行動し、最高の学びと高校につながる学びの種ができました。

多くの制限があり困難の連続だった三年間ですが、東北勢として初めて甲子園優勝旗を手にした仙台育英高校の監督の言葉にあるよう「青春は密」、本当に充実した三年間でした。一緒に作り上げた六期生を私は誇りに思います。本当にありがとうございます。

在校生の皆さん、後輩のみなさんに伝えたいことは失敗、間違いは受け入れるべきということ。失敗や間違いを恐れず。とは違います。失敗、間違いは怖い。できればしたくない。でも人間ですから、みんな失敗するし、間違いもします。そうなったときに、人のせいにしたり、環境のせいにしたり、自分は悪くない

んだと、自分のプライドを守ることはせず受け入れて謝るべきだということでした。自分もたくさん失敗や間違いをしました。人を傷つけてしまったこともありま  
す。だからこそ私が今思うのです。高志中学校はお互いの個性を安心して認め合  
える学校だから、自分の弱さを受け入れ人間力を育てられる、そう信じて安心  
して自分の過ちを認めていきましよう。

家族のみなさん。この三年間、そしてこれまでの十五年間たくさん迷惑を掛け  
続け、一番近くで支えてくれたのは家族です。十五年間本当にありがとう。義  
務教育が終わり、自分のすることは自分で責任を取るということが重要になりま  
す。守られる立場から守る立場の人間になるための変化期間が高校であり、私た  
ちはその準備に入っていきます。もちろんすぐに変化はできませんが、目指して  
努力しますので、もうしばらくよろしくお願いします。

先生方。良くも悪くも元気いっぱいな私達に、先生方は様々な学びの機会を作  
ってくださいました。学習や部活動はもちろん、委員会・学校行事等、常に手厚  
いサポートをしてくださったおかげで、私達は自分たちのやりたいことを思いつき  
りすることができました。生徒一人一人を想い、見守ってくださいさる先生方に囲ま  
れて過ごしたこの三年間は、とても幸せで心から感謝いたします。

私たちは四月から高入生と混合クラスになる初めての学年になります。新たに  
高入生の友人達と出会い、さらに異なる価値観をぶつけ合い切磋琢磨して飛躍  
していけることを楽しみにしています。高志中学校・高校の校訓「克己・創造・敬  
愛」のもと、予測不能な社会を生き抜けるよう、周囲の人々への感謝を忘れず  
に、これからも六期生の合言葉ROCKなスピリッツを持ち続け努力を重ねること

をお約束するとともに、高志中学校の益々のご発展を心より祈念し答辞と致します。

令和五年三月二十二日

第六回 高志中学校卒業生代表 桑原空之介